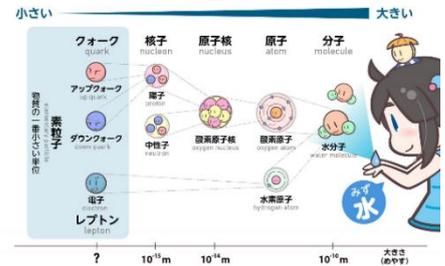




東京大学との連携事業

～ 素粒子物理学への誘い～世界と仕事をする科学者になろう～

東京大学との連携で、講師に、
 奥村 恭幸先生(東京大学大学院理学研究科物理学専攻)
 長坂 錬先生(東京大学大学院理学研究科物理学専攻)
 をお招きし、素粒子物理学についての講座をしていただきました。



ノーベル物理学賞の対象にもなったテーマ「素粒子」を専門とする研究者からの講義により、深い理解と、歴史的な発見に至った物理解析の一端を体験しました。興味があったものの、難しそうと敬遠していた素粒子について理解が進みました。

また、長坂先生は本校の卒業生でもあります。身近な先輩が、世界のサイエンスの最前線で活躍していることに感激しました。また、受講生にとって、実際の「研究者ってどんなひと? 研究生活ってどんなもの?」を知る講習会となりました。

👉 講座の様子



生徒の感想より

- 大学の物理は高校の内容とは、少し切り離して考えていたけれど、高校の物理で面白かったことが、その延長として大学にも生きてくるのだと感じた。
- 大学院で実際に研究されている方に話を聞くことができる貴重な経験になった。素粒子物理学は自分で学ぶには難しい部分も多いので、この機会に実際にどのような研究をしているのか知れて良かった。気になっていた国際リニアコライダーの話も直接聞くことができ貴重な時間であった。
- 素粒子の研究はとても面白そうで、自分の将来の選択の候補としてとても良いと改めて感じました。